

Yurina ユリーナカップリング

取扱説明書

カナパワーホースニューAT及び鋼管専用



この度は「ユリーナカップリング」をお買い上げいただきありがとうございます。
本取扱説明書は、カップリングの正しい取扱い方をご習得頂くための説明書です。取付及び保守作業に入られる前に必ずご一読下さいますようお願い致します。



東亜フレックス株式会社

〒554-0027 大阪市西区九条1丁目6番11号
Tel.06-6584-7652 Fax.06-6584-7686
URL <http://www.toaflex.co.jp>

カナフレックスコーポレーション社推奨品

寸法及び締付トルク値

	締付トルク N・m(kgf・cm)	ボルト六角頭(対辺)
50A	15~20(150~200)	8mm
65A	20~25(200~250)	8mm
80A	40~50(400~500)	10mm
100A	40~50(400~500)	10mm
125A	90~100(900~1000)	12mm
150A	90~100(900~1000)	12mm

■保証

本製品の保証期間は納入後1年です。

次の場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。

- 1.誤った取付・誤った使用方法・修理・改造による事故及び破損。
- 2.火災・地震などの天災地変による事故・損傷。
- 3.ご購入後の輸送・保管不備などによる事故・損傷。

※規格・仕様については、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

本取扱説明書は、ユリーナカップリングに適用します。

安全上のご注意

製品をより安全にご活用いただくために、必ず安全上の注意事項を最後までお読みの上、正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、製品の安全に正しく使用いただき、使用に際しての人的危害や部的損害の内容を【警告】と【注意】に区分します。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。また、お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告

本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具を着用し作業を行ってください。



警告

本製品を取り外す場合は必ず、配管内の圧力がゼロであることを確認して行ってください。

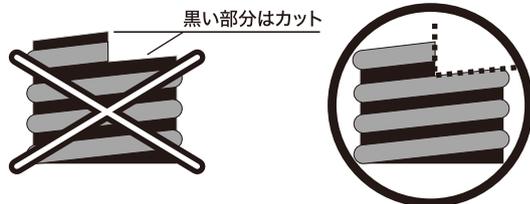
1 作業前の準備

■ 取付に必要な道具類

- ・トルクレンチ ・コンベックス ・潤滑剤
- ・カッターナイフ ・マジック ・ハンドソー

2 ホースカット及びインナー Sleeve パッキン取付作業

■ ホースを図の様にナイフ等で切断します。



3 ホース取付作業 ①

■ カップリングのボルトを接続するホースがスムーズに挿入できる位置まで緩める。

■ ホース側(緑色リテーナー側)挿入口を確認する。

4 ホース取付作業 ②

■ カップリングを回転させながらホースを奥までねじ込みます。

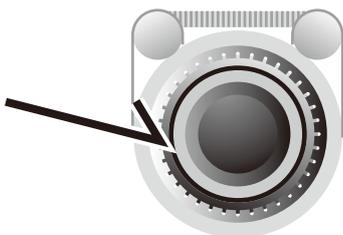
※差し込みにくい場合は潤滑剤を塗布してください。

! 必ずホースの端部が奥まで入っているか確認してください。

⚠ 警告 鋭利な箇所がありますので必ず手袋等を着用して作業してください。

5 鋼管取付作業 ①

■ 鋼管側(菊座の有る側)の挿入口を確認してください。



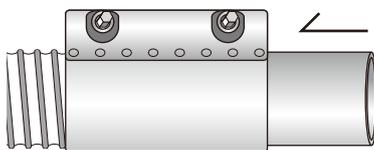
! 必ずホースインナー Sleeve が奥まで入っているか目視等で確認してください。

⚠ 警告 鋭利な箇所がありますので必ず手袋等を着用して作業してください。

6 鋼管取付作業 ②

■ 鋼管の端面をヤスリでかえり、バリ等を除去して下さい。

■ 鋼管をインナー Sleeve 端面に突き当たるまで差し込みます。

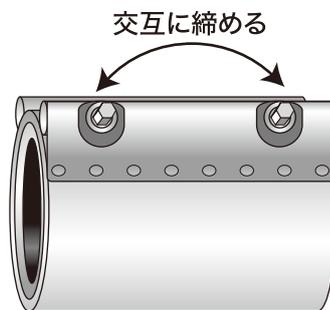


! 鋼管が奥まで差し込まれているかを確認してください。

⚠ 警告 塩化ビニール管等の軟質パイプは絶対に使用しないでください。

7 ボルトの締め付け

■ 目安としては、片側のボルトを3回転程度締め付けたらもう一方のボルトに移り同様に締め、この作業を繰り返し均等になる様に締め付けます。



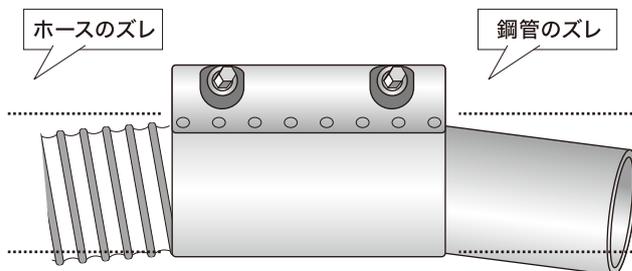
⚠ 注意 ボルトが片締めにならないよう十分にご注意してください。

8 締め付け作業の完了

■ 設定したトルク値になると、トルクレンチが「カチン!」と合図します。他のボルトも合図あるまで締めます。この作業を5~6回繰り返して行い全てのボルトが均等に所定のトルク値になるまで締めます。

9 施工の確認

■ 下図の様な場合は一度外して、再度やり直して下さい。



■ 適用管種

JIS G 3459	配管用ステンレス鋼管
JIS G 3452	配管用炭素鋼管
JIS G 3454	圧力配管用炭素鋼管
JIS G 3442	水道用亜鉛メッキ鋼管
JWWA K 116	水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管

⊘ カップリングが正しく施工されていないと、事故の原因になる場合があります。

⊘ カップリングに負荷のかかる宙吊り又は吊下げ状態では使用しないでください。